

第1回まちづくりと野川に関する懇談会の概要

日 時：平成27年7月29日(水)午後6時から7時30分

場 所：もとまち公民館視聴覚室

参加者：市民51名，都市建設部長，緑と建築課長，他3名

[主な質疑]

質問：

質疑応答の前に，本日の懇談会の議事録を作成するのでしょうか。

回答：

懇談会の内容は記録をとって概要を取りまとめ皆さんにお示しします。

質問：

川を広げて景観を良くするための野川整備は理解できないとともに，河川整備より野川周辺の車道を広げてほしい。また，まちづくりよりも子育て支援の強化，保育園の民営化を中止してほしいと思います。

回答：

都内で発生している時間100ミリに近い降雨が懸念されており，国分寺市区間では時間50ミリ強度の整備をしていく計画です。

市のまちづくりは野川の管理用通路などの施設整備を踏まえ考えていきます。また，市の施策はそれぞれの計画・方針に沿って進めています。

質問：

河川整備を実現しようというなら，その土地の建築を許可しないなどしないと，財源の確保が不可能なくらい膨張するのでないかと考えています。

回答：

事業化前の現段階では建物の建築などに一定制限はありますが，売買を含めて建築ができる状況であることはご理解いただきたいと思います。

質問：

野川の国分寺市域は17メートルの川幅にするという都の計画があったと思いますけど変更があったわけですか。

回答：

野川の幅員については，小金井境の下流から23メートル，不動橋から上流は19.5メートルです。

意見：

雨量の話などを考えると，規模的には現況の計画よりは幅員を狭めた計画を考えてもよいのではないかと思います。

回答：

ご意見として受け止めさせていただきます。

質問：

市として野川の水位を定期的に測っているのでしょうか。測っているなら周辺に示していただければ、これは危ないなと納得がいくと思います。

回答：

市では野川の水位観測はしていませんが、管理者の東京都が水位の観測所を設けておりホームページで確認ができます。

平成 26 年 8 月 10 日に時間 56～58 ミリの降雨があり、鞍尾根橋付近で 50 センチの水位上昇がありました。

質問：

もし工事をやるとなると国分寺市の費用というのはどうなるのか、費用は国分寺市も出すのでしょうか。

回答：

野川の整備については、あくまで管理者である東京都の整備になるので国分寺市の負担はありません。

質問：

治水対策で 1 時間 50 ミリ降雨による洪水を安全に流せるような護岸の整備とありますが、これはもうクリアーできているという意味ですか。

回答：

東京都の方で計画している時間 50 ミリの降雨に対する護岸整備というのは、まだ、国分寺区間では整備されていません。

昨年の降雨は短時間に収まってしまったため、現実には大きな水位上昇に至りませんでした。

意見：

国分寺市ではいわゆる集中豪雨は起こっていないので幸いなことと思いますが、50 ミリ対応はできていないという状況だろうと思います。

意見：

以前に南町一丁目で水が道路にあふれた時、床上浸水が 2 軒ありましたが、皆さんは野川の護岸等を心配されており、このままではよくないと思います。

回答：

平成 12 年度に大きな豪雨で野川の周辺に被害が出ましたが、野川の維持管理は北多摩北部建設事務所にしっかりお願いします。

意見：

野川の改修後の東経大付近で床下浸水をしていますので、むしろ川の問題以前に国分寺市の水害対策の方を優先させた方がよいと思います。

質問：

私は未来永劫野川がこのままでよいのか、子や孫にコンクリートで固めた野川をそのままにしてよいのかというと大変困ってしまいます。

本当に事業を進めるのであれば、もっと強力に東京都に進めていかないと進めにくい事業ではなかろうかと思っております。

資料の2ページに「(4) 河川事業の一般的な流れ」というものがありますが、今どこの時点にあるのかお伺いします。

回答：

現在、野川は事業化には至っておりませんので、資料の事業の流れの部分はこれから先ということになります。

質問：

市は河川の幅員の変更などの意見に対してもっとはっきり説明すべきだと思います。市が公園をつくるなら負担がないとは思えません。また、緑と建築課が周辺のまちづくりを担当するのでしょうか。

回答：

市は現時点での地域の方々のご意見を伺いたいと考えています。まちづくりの経費は市が負担するものであり、まちづくりの分野は庁内で連携を図って対応していきます。

事務局：

次回の懇談会は10月下旬に予定しており、開催内容をあらためてお知らせします。

以上